

和地ひとみレポート No.82

西武鉄道5路線廃止について

(株)サーベラス・ジャパンより回答の文書



■東村山市議会に文書にて回答が

…私たちの身近な足である西武鉄道の国分寺線、多摩湖線、山口線、多摩川線、秩父線の5路線が不採算路線という理由で廃止という問題が4月から沸き起こりました。以前このレポートでもお伝えしたとおり小平市、東村山市、国分寺市、東大和市の4市で構成する「西武鉄道国分寺線・多摩湖線沿線連絡協議会」が国や都に路線の存続を要請するなどの活動を行うとともに、東京都北多摩議長連絡協議会において「市民生活に欠かすことのできない西武鉄道5路線の存続と沿線の更なる充実・発展を求める決議」が了承されたことを受け、国、都、西武ホールディングスなどへの要請を行っています。また4月22日、東大和市議会議員と同副議長と東村山市議会議員と同副議長が、国土交通省鉄道局長と東京都都市整備局長らに面会し、「西武鉄道現行路線を存続させ、廃止にならないよう協力いただきたい」とお願いするとともに、意見表明文を持参。さらに、4月26日には、東大和市議会、東村山市議会、小平市議会の各議長と副議長が、西武ホールディングス代表取締役社長と西武鉄道株式会社社長(兼西武ホールディングス取締役)と面会し、各市議会それぞれに行った意見表明文や決議文を手渡し、現行路線の継続を強く求めました。

…このような様々な動きの中、5月2日付で東村山市議会議員宛に株式会社サーベラス ジャパンより今回の問題に対する文書が出され、東大和市議会にもその内容が共有されました。

■鉄道路線の廃止を要請したことはない

…サーベラス社からの文書では『西武ホールディングスに対して、鉄道路線の廃止を要請したことはなく、また、今度もこのような提案を行う意思は一切ない』という部分に下線が引かれ強く表明がされていました。しかし、報道での西武ホールディングスの言い分は、昨年10月にサーベラス社より文書で不採算路線廃止などを要求する旨が示されたとのこと。言い分は対立しており「言った、言わない論」的ですが、双方とも路線廃止は考えていないという部分では一致しています。

■人口減少が進む中での公共の足は

…ここで言うまでもなく、今後、日本の人口は減少。厚生労働省の発表では、2060年には総人口が9000万人を割り込み、高齢化率は40%近い水準になると推計されています。不採算路線と呼ばれる鉄道は今回の西武線の5路線だけではなく、全国的に問題になってくるのではないかと思います。また、高齢化が進むという状況の中で、公共の交通をどのように維持し、運営していくかということについても、今までの右肩上がりの時代の考え方で難しいのではないかと予測出来ると思

ます。今回の西武線の問題から、国、都ともに公共の交通のあり方についても、人口減少が進むことに付随した問題として検討していく必要があると考えます。

■足元の市政で出来ることはないのか

…今回の問題に対して市政としては何が出来るのか。現在、市政では産業振興も含め「観光」を前面に押し出しています。その動きの中で、鉄道を利用して東大和市を訪れてもらうような取組みをすることは、一つの案としては良いと思います。しかし、もう少し長い目で考えた際、市が発展すること≡人口が増えることを考えると、産業振興の面では企業誘致などを検討する、また、教育の水準を上げることや、これからの時代に合った行政サービスを実現するなど「住みたいまち」にしていく。このような取組みが、今回のような問題を回避できることだけではなく、財政難という状況を解決する基本的なことではないかと和地ひとみは考えます。

【サーベラス ジャパン社からの回答文・・・一部抜粋】

弊社は過去7年以上に亘って株式会社西武ホールディングス様(以下、西武ホールディングス様)の普通株式の約32.4%を保有する筆頭株主であるサーベラス・グループに所属する日本におけるコンサルティング会社です。(略)

ご存知の通り、サーベラス・グループは本年3月12日より西武ホールディングス様の普通株式を対象とする公開買付けを行っております。本公開買付けに関しては、西武ホールディングス様から、私どもが西武ホールディングス様に対して鉄道路線の廃止を要求しているという根本的な事実関係に関する重大な誤解に基づく意見表明がなされ、また多数のマスメディアによって、これを喧伝する報道がなされて参りました。私どもは、これらによって関係地方自治体の皆様、鉄道沿線の住民の皆様の間で不安が募ってしまったことを、大変残念に感じております。

本年3月27日および4月5日の記者会見にて表明し、また本公開買付け開始後に公表いたしましたプレスリリースにて繰り返し明確に表明するとともに、サーベラス・グループを代表して、元アメリカ合衆国副大統領であり、現サーベラス・グローバル・インベストメンツ・エルエルシー会長であるジェームズ・ダンフォース・クエールが4月24日にNHKにて放送された(略)インタビューおよび4月26日付日本経済新聞朝刊掲載の記事に引用されたインタビューでも名言いたしました通り、私どもは、西武ホールディングス様に対して、鉄道路線の廃止を要請したことはなく、また今度もこのような提案を行う意思はございません。そもそも、サーベラス・グループは西武ホールディングス様の株主にすぎないものでありそのような重大事項に関する決定をする立場にはなく、全ては西武ホールディングス様自身が決定し、実行されることとさせていただきます。